

第2回神楽舞 in 飯南

石見神楽部は、令和7年8月23日（土）に飯南町の赤名農村環境改善センターにて開催されました「第2回神楽舞 in 飯南」に参加いたしました。なお、「神楽舞」は「かぐら」と「ラブ」をかけて「かぐらぶ」と読みます。

この催しは飯南高校神楽愛好会のOBが「若者の晴れ舞台の創出と地域や神楽ファンの声に応えるべく、飯南高校神楽愛好会に所属していたOB・OGが主体となって、飯南高校神楽愛好会のみならず複数の高校や神楽団体を招き、披露してもらう公演」という趣旨で開催されています。

私たちは午後4時の開演直後に上演いたしました。今年は広島市から招かれた斉藤裕子さんが進行役を務められました。上演に先立ち、部長と副部長がステージでインタビューを受け、日頃の私たちの練習や今日の意気込みなどの紹介をされました。

上演演目は「日本武尊」でした。この演目の見どころは4人の舞手が戦いの場面を息を合わせて舞うところですが、悪役の親分と2人の子分が交わす軽妙なトークも会場を笑わせていました。練習時から指導してくださっているOBの方々が当日も5名おいでになり、私たちの上演を手伝ってくださいました。ありがとうございました。

引き続き邇摩高校石見神楽部へのご声援をよろしく申し上げます。

